

う ち ゅ う
宇宙 パ テ ィ シ エ ー ル 妃 斗 葉 1

ひ と は
作 さ く た か は し と も こ
高橋倫子

だ い わ
第 1 話 200 年 間 の プ ロ ロ ー グ (前 編)

たんにん みずしま あき かえ
担任の水嶋は呆れ返っている。

なに かんが まった さだかね せいせき
「何を考えているんだ、全く……。定兼ぐらいの成績ならもっ
だいがく い
といい大学に行けるだろう」

の なが くりいろ かみ しょうじょ ま す みずしま
「だけど乗りたいんです」長い栗色の髪の毛の少女は真っ直ぐに水嶋
み つ
を見詰めている。

みずしま しらが ま かみ か あ つくえ ひじ
水嶋は白髪混じりの髪をがばっと搔き上げて、そのまま机に肘
つ
を付いた。

の まえ はいぞく
「乗りたいってな……。お前みたいなひょろっこいのが配属
わけ な
される訳が無いだろ」

せんとう き の せんぞく か ししょくにん
「だから戦闘機乗りとしてじゃなくて、専属の菓子職人になって
の
乗り込むんです」

の と
「どうしてそこまで乗りたいんだろうね……。しょうがないな、取
あ みやじまちゅうぐんせい か だいがく がんしょ りょうしん はな あ
り敢えず宮島宙軍製菓大学の願書だ。ご両親とよく話し合うん
だぞ」

しょうじょ な さだかね ひ と は ねんう さい こうこう ねんせい ちちおや
少女の名は定兼妃斗葉。2172年生まれの18歳。高校3年生。父親
せいりょういんりょう かいしやいん ははおや せんぎょうしゅふ とした いもうと
は清涼飲料メーカーの会社員。母親は専業主婦。5つ歳下の妹
がいる。

ひ と は う ち ゅ う せん かん じ ょ う む い ん
妃斗葉にはやってみていたことがあった。宇宙戦艦の乗務員に

なることだ。

ひ と は いえ ひ と は ちやうど ねんまえう だいまえ
妃斗葉の家には、妃斗葉よりも 丁度200年前生まれの、7、8代前
じよせい せんぞ か のこ い しょもつ だいだいう つ
の女性の先祖が書き遺したと言われる書物が代々受け継がれてい
ないよう だいまえ せんぞ しそん たく ゆめ なん どうじ
る。内容は7、8代前の先祖が子孫に託した夢である。何でも当時
う ちゅうせんかん なに で く くうそう さんぶつ
は宇宙戦艦というのはS F アニメか何かに出て来る空想の産物
の こ ゆめ しょもつ か じだい
で、それに乗り込むのが夢だったらしい。その書物が書かれた時代
やく ねん つきひ なが う ちゅうせんかん げんじつ すがた
から約200年の月日が流れ、宇宙戦艦は現実のものとして姿を
あらわ
現した。

ひ と は はは う つ しょもつ こ たち まえ かく
妃斗葉の母は受け継がれてきた書物を子ども達の前から隠した。
しそん ゆめ たく だいまえ せんぞ わる じぶん こ
子孫に夢を託してくれた7、8代前の先祖には悪いが、自分の子ども
たち きけん め あ ひ と は あこが
達には危険な目に遭わせたくない。だが妃斗葉は憧れてしまっ
だいまえ せんぞ しそん たく ゆめ じぶん かな
ていた。7、8代前の先祖が子孫に託した夢を自分が叶えるという
やく ねん とき こ ふたた つづ はじ ものがたり
ことに。約200年もの時を超えて再び綴られ始める物語に。

ひるやす こうしゃ おくじょう あ う ちゅうせんかん ぞうせんしょ ちい み
昼休みに校舎の屋上に上がる。宇宙戦艦の造船所が小さく見
ぶあつ かべ かこ ふね つく
える。分厚い壁で囲われていて、どのような船が造られているの
わか あこが じゅうぶん め と
かは判らない。けれど憧れるにはそれで充分。そっと目を閉じ
みらい じぶん おも えが
未来の自分を思い描く。

ひ と は りょうしん みやじまちゅうぐんせい か だいがく しんがく わね はな
妃斗葉は両親に宮島宇宙軍製菓大学に進学したい旨を話した。
う ちゅうぐん はい おも
「ひいちゃん。まさか宇宙軍に入ろうなんて思っ
ね」母は少
ひは すこ く ちやう ねん お
しきついで口調で念押しする。
しょくひんかんけい し ごと わたし
「パパもおじいちゃんも食
おも
品関係の仕事だから、私も……って
思っ
って……」

「そうだな。食べ物た ものの仕事しごとに就つけば食くいっぱぐれも無ないだろうしな」

言いいそびれてしまった。本当ほんとうの目的もくてきは宇宙うちゅうせんかん戦艦のに乗のるためだと
いうことせいかを。製菓まなを学まなぶのはその手段しゅだんの一つひとでしかないこといを。言い
えなかった。

みやじまちゅうぐんせい か だいがく な とお ひろしまけんはつ かいし みやじまぐち
宮島 宙 軍製菓大学はその名の通り広島県廿日市市の宮島口に
キャンパスを構かまえる、菓子職人か しよくにんを育そだてる為ための単科大学たんだいがかである。
みやじまぐち せ かい い さんいつくしまじんじや あ みやじま つな かんこうめいしよ
宮島口は世界遺産 厳島神社の在る宮島へと繋がる観光名所の
ひとつであり、何世紀も昔から「もみじ饅頭」をはじめとする銘菓
せいぞう さか
の製造が盛んである。

みやじまぐち みやじま つな うみ おおのせと うちゅうせんかん ぞうせんしよ
宮島口と宮島とを繋いでいる海、大野瀬戸に宇宙戦艦の造船所
みやじまちゅうぐんせい か だいがく うちゅうぐん こうりつがつこう
がある。宮島 宙 軍製菓大学が宇宙軍の公立学校であるのはこう
かんきょう ひつぜん
いった環境からの必然なのだ。

うちゅうかんきょう か しごと たずさ ものたち しよく もんだい たいせつ
宇宙環境下での仕事に携わる者達にとって食の問題は大切
こと えいようめん かんが かんたん こと からだ
な事。栄養面だけを考かんがえるのならば簡単な事かんたんなのだが、ヒトの体
たんじゆん で き えいようそ からだ
というのはそれほど単純には出来ていない。ただ栄養素を体
と こ おい たの まえむ
取り込めばいいのではない。美味しい、楽しい、といった前向き
かんじょう とも せつしゆ けつ か けんぜん しんしん たも こと
な感情と共に摂取しなければ、結果として健全な心身を保つ事は
で き
出来ない。

みやじまちゅうぐんせい か だいがく うちゅうかんきょう か とく うちゅうせんかん じょうむ
宮島 宙 軍製菓大学では、宇宙環境下、特に宇宙戦艦に乗務
ものたち か し しこうひん つう さぎ こと
する者達を、菓子やデザートといった嗜好品を通じて支える事を
せんもん じんざい いくせい おも もくてき ひ とは ははおや
専門とする人材の育成を主な目的としている。妃斗葉の母親が、
ひと は うちゅうぐん はい しんばい
妃斗葉が宇宙軍に入ろうとしているのではないかと心配してい

たのは、そんなところからだった。

もちろん、みやじまちゅうぐんせい か だいがく 宮島 宙 軍製菓大学を出たからと言って、ぜんいん 全員が
うちゅうぐん 宇宙軍での しよく つ わけ 職に就ける訳ではない。宇宙戦艦の うちゅうせんかん 厨房での仕事
うちゅうちょうりし のほとんどは宇宙調理師が行う。宇宙調理師の中には菓子や
せいつう デザートにも精通している者が もの すく 少なくない。宇宙製菓衛生師にと
うちゅうせんかん って、宇宙戦艦の ちゅうぼう 厨房は せま もん 狭き門なのである。そのため、おお 多くの
うちゅうせい か えいせいし 宇宙製菓衛生師は ちじょう 地上の いっぽん 一般の せい かかいしゃ 製菓会社や かしてん 菓子店に しゅうしよく 就職する。
えん うん 縁と こくさい 運があれば うちゅう 国際宇宙 ちゅうぼう ステーションや ちゅうぼう 宇宙ホテルの しゅうしよく 厨房に
しよく 就職を決める者も居た。

ひ と は ひとつは おきな おきな ころ ころ ゆめ ゆめ うちゅうかい 宇宙開発に ぎじゅつ 技術者として
たずさ 携わるとい ゆめ う夢。だから しょう 小、ちゅうがくせい 中学生の ころ 頃は りか 理科や すうがく 数学の べんきょう 勉強
がんぼ を せいせき 頑張った。成績は わる 悪い時でも とき 校内で こうない 十本の じっぽん 指に入る ゆび ほど はい だった。
ははおや だから、だいだいつた 母親から しょもつ 代々 はなし 伝わる はじ 書物の き 話 ひ を ぎじゅつ 初めて ぎじゅつ 聞いた日、ぎじゅつ 技術者
せんとうき か の 戦闘機 の 乗りとして おも 宇宙戦艦に おも 乗りたいと思 おも った。

こうこう しかし、にゅうがく 高校に ころ 入学した じじょう 頃から か 事情は がんぼ 変わった。頑張っても思
せいせき う と ような うえ 成績が うえ 取れ い なくな し った。上には し 上が し 居る し ことを し 知 し った。

たんいん 担任の みずしませんせい 水嶋先生は ごうかく 合格 けんない 圏内の りこうけい 理工系 だいがく 大学への しんがく 進学を すす 勧め すす て すす くれた
だめ が、ごうかく それでは だめ 駄目 にゅうがく だった。合格 にゅうがく できる にゅうがく だけでは にゅうがく 駄目 にゅうがく なのだ。入学後
じょうい も せいせき 上位の たも 成績を つづ 保ち うちゅうせんかん 続け、しよく 確実に しよく 宇宙戦艦 しよく での つ 職 つ に つ た つ どり つ 着 つ か
い なければ な 意味 い が い 無い い の い だ。 い 今 い ま がんぼ まで べんきょう 頑張 りか って りか 勉強 りか して りか きた りか 理科 りか や
すうがく 数学 つか が かくじつ 使 うちゅうせんかん えて、しよく 確実に しよく 宇宙戦艦 しよく での つ 職 つ に つ た つ どり つ 着 つ け つ そう つ な
しんがく 進学 しんがく 先。 ひ と は 妃斗葉 みやじまちゅうぐんせい か だいがく にとって、みやじまちゅうぐんせい か だいがく それが みやじまちゅうぐんせい か だいがく 宮島 宙 軍製菓大学 みやじまちゅうぐんせい か だいがく だった。

ねんあき ひ と は みやじまちゅうぐんせい か だいがくせい か がくぶ う ちゅうせい か がっ か
2190年秋。妃斗葉は宮島 宙 軍製菓大学製菓学部宇 宙 製菓学科
すいせんわく じゅけん いっしゅうかん ご ごうかくつう ち う と やく ねん とき
を推薦枠で受験。一 週 間後に合格通知を受け取った。約200 年の時
こ ひとり じょせい みらい たく ゆめ つづ いま
を超えて、一人の女性が未来に託した夢の続きが、今、ゆっくりと
うご はじ
動き始めた。